

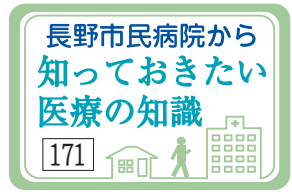


松下 剛

放射線診断科副部長
専門は画像診断

出血を止める方法と
いうと、出血している
ところを押さえたり、
切れた血管を手術で縛
ったりすることを想像
する人が多いと思いま
すが、ほかに「動脈塞
栓術」という方法もあ
ります。

動脈塞栓術とは、足
の付け根や腕の動脈か
ら細い管(カテーテル)
を入れ、血管が傷付い
て出血している場所ま
で進め、血管を詰めて
ふさぐ治療法です。多
くの場合は局所麻酔で
行います。

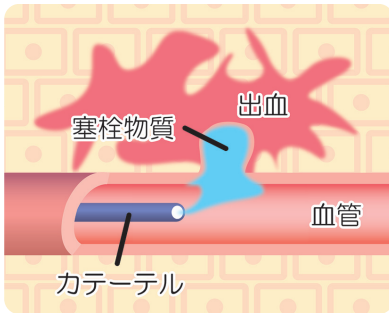


体に負担少ない治療

血管を詰める材料
(塞栓物質)として、ゼ
ラチンスポンジ、金属
コイル、液体塞栓物質
などを使います。塞栓
術は外科手術による止
血と比べ体への負担が
少なく、入院期間も短
くできるとされています。

ですが、ほかの治療法よ
り有効性や安全性が優
れていると判断された
場合に選択されます。

カテーテルでの止血術



血管を詰めてふさぎ血を止める

出血が確認されたら、
カテーテルを進め、塞
栓物質を注入して出血

止血術は、多くは大量出
血、血圧低下などで全
身状態の悪い患者さん
に対して行われます。

この止血法が使われ
るのは、外傷による出
血(交通事故、転落な
ど)、消化管出血(大腸
憩室、潰瘍など)、喀
血、出産時の出血、腫
瘍からの出血、動脈瘤
からの出血、手術後の
出血などで、自然に止
まらずに臓器の障害
を生じたり、血圧低下
を来したり、血圧低下

などで命に関わったり
する場合です。血が止
まっても、後で出血
血しないよう予防的に
行うこともあります。
止血治療が必要な出
血が疑われた場合、通
常はコンピュータ断
層撮影(CT)で出血
の有无や原因を確認し
ます。消化管出血の場
合、大部分は内視鏡で
止血できるので、内視
鏡が先に行われること
もあります。

画像で調べて慎重に

塞栓術では、まずカ
テーテルから造影剤を
注入して撮影を行い、
出血点を確認します。
血管は人によって枝分
かれの仕方が違ってい
る上に、詰めてよい血
管とよくない血管があ
るため、事前にCTや
内視鏡で出血の場所や
そこへ行くまでの血管
の形を詳しく調べます。
出血が確認されたら、
カテーテルを進め、塞
栓物質を注入して出血

を止めます。動脈を詰
めると、その先の臓器
の血流も減少すること
があるので、それによ
る臓器の障害が最小限
になるように注意しま
す。ただ急いで止血し
なければ救命できない
場合には、臓器がある
程度犠牲にしても止血
を優先して治療するこ
ともあります。

出血に対する緊急の
治療は、多くは大量出
血、血圧低下などで全
身状態の悪い患者さん
に対して行われます。